

予算審査特別委員会報告

予算審査特別委員会に付託されました議案につきまして、本特別委員会での審査の経過及び結果を御報告いたします。

はじめに、本委員会の経過を御報告いたします。

本委員会は、平成 29 年度当初予算に関する審査を目的として 2 月 24 日に設置され、3 月 9 日に当初予算に関する議案第 1 号から議案第 20 号までが本特別委員会に付託されました。

その後、総括質疑の開催、各分科会での詳細審査を終え、3 月 22 日に各分科会長報告、討論・採決を行い、本特別委員会での審査を終了したところであります。

各分科会報告では、御手元に配布のとおり 5 分科会の審査の過程で出された 11 項目にわたる要望等が報告されたところです。

それでは、各分科会報告の中から、次の 5 点を本委員会の要望等として申し上げます。

まず、平成 29 年度鳥取市一般会計についてであります。

1 点目は、総合防災対策事業費についてであります。

度重なる災害により市民の防災意識は高まっており、災害を未然に防ぎ、被害を最小限にするため、市民に対するさらなる防災意識の啓発と情報の提供を積極的に行うべきと考えます。

現在、本市の防災に関する重要事項を審議する場である防災会議は、年 2、3 回程度開催されております。来年度は大雪被害等も踏まえて早期に開催し、地域防災計画などの見直しを図られるよう望みます。

また、本市においてはさらなる防災関連事業の充実に努められるよう求めます。

2 点目は、生活困窮者自立支援事業、子どもの居場所づくり推進事業、ひとり親家庭学習支援事業についてであります。

生活困窮者自立支援事業、子どもの居場所づくり推進事業、ひとり親家庭学習支援事業、これら 3 つの事業は子どもの健全育成と自立を促すため、学習の支援や居場所、食事を提供することを目的としています。

子ども達が経済的な環境に左右されることなく、学習や社会性を育むための他者との交流の機会を得ることは非常に重要なことであり、これらの事業の利用者拡充を期待するところです。

しかしながらこの3つの事業は、対象者が重複しているところもあり、利用者がどの制度を利用することができるのかわかりにくい部分が見受けられます。

対象者がどの制度を利用したらいいかを十分サポートして、適切な制度で適切な支援が受けられるよう配慮を望みます。

3点目は、放課後児童対策事業費についてであります。

放課後児童クラブは年々ニーズが高まり入級児童数が増加しています。各クラブが入級希望のアンケートを取り、入級希望者の把握をされていますが、入級したくても声を上げられない保護者もあり、潜在的ニーズは高いと思われます。

入級希望者を把握し、どのように拡充していくかは行政の仕事であり、ニーズの把握は今後の大きな課題であるとの意見が分科員からありました。

クラブの新設や分割など入級児童数を拡充する努力はされていますが、今後、潜在的ニーズの把握に一層努め、必要であれば計画の見直しを柔軟に行うよう要望します。

4点目は、市庁舎整備推進事業費についてであります。

本分科会では、発注方法について執行部より、選定方法の特徴について説明を受けながら、価格の最も低い者を取引の相手方として評価する価格評価と入札価格と価格以外の品質などの要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価のいずれがよいか議論をおこないました。

その結果、多くの分科員から、価格評価のほうが優れているとの意見がありました。

理由としては、価格評価は、多くの大型工事が進む本市建設業界の仕事量の現状を考えると、工事品質を、適正な工事管理や参加条件で担保した上で、費用の抑制と競争原理が働きやすく、できるだけ早く落札者が決定でき、現在想定しているスケジュールを変更する必要がないことであります。

これを踏まえて、選定されるよう要望するものであります。

最後に、議案第17号平成29年度鳥取市水道事業会計予算についてであります。

簡易水道事業は、広域化による効率的な経営体制の確立を目的に、本年4月に水道事業に統合されます。

統合に当たっては、簡易水道事業の設備や管理の水準を水道事業の水準に合わせていくという課題があります。

この課題に対応可能な水道局の組織体制の整備が必要であるとの指摘が分科員からありました。

今後、執行部におかれましては、安全・安心な水道のサービス水準の維持、そして向上につながる事業運営が行えるよう、組織体制の強化に取り組んでいただくよう要望いたし

ます。

それでは、審査の結果を御報告いたします。

- 議案第 2 号 平成 29 年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算
- 議案第 3 号 平成 29 年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算
- 議案第 6 号 平成 29 年度鳥取市高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算
- 議案第 7 号 平成 29 年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算
- 議案第 8 号 平成 29 年度鳥取市土地取得費特別会計予算
- 議案第 9 号 平成 29 年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算
- 議案第 11 号 平成 29 年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算
- 議案第 12 号 平成 29 年度鳥取市温泉事業費特別会計予算
- 議案第 13 号 平成 29 年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算
- 議案第 14 号 平成 29 年度鳥取市介護老人保健施設事業費特別会計予算
- 議案第 15 号 平成 29 年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計予算
- 議案第 16 号 平成 29 年度鳥取市電気事業費特別会計予算
- 議案第 18 号 平成 29 年度鳥取市工業用水道事業会計予算
- 議案第 19 号 平成 29 年度鳥取市下水道等事業会計予算
- 議案第 20 号 平成 29 年度鳥取市病院事業会計予算

以上 15 案は、いずれも適切な措置と認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に

- 議案第 1 号 平成 29 年度鳥取市一般会計予算
- 議案第 4 号 平成 29 年度鳥取市駐車場事業費特別会計予算
- 議案第 5 号 平成 29 年度鳥取市国民健康保険費特別会計予算
- 議案第 10 号 平成 29 年度鳥取市介護保険費特別会計予算
- 議案第 17 号 平成 29 年度鳥取市水道事業会計予算

以上 5 案は、一部委員の反対がありましたが、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

最後に、執行部におかれましては平成 29 年度当初予算の執行に当たり、費用対効果、市民への説明責任などを念頭に置きながら、市民生活、福祉の向上に鋭意取り組まれるよう要望するとともに、各分科会からの報告に対して適切に対応されることを求めて予算審査特別委員会の委員長報告を終わります。

総務企画分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第 1 号 平成 29 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、
議案第 7 号 平成 29 年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算、
議案第 8 号 平成 29 年度鳥取市土地取得費特別会計予算、
議案第 11 号 平成 29 年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算、

以上 4 案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について報告します。

議案第 1 号平成 29 年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分についてであります。

まず、社会保障税番号制度運営費についてです。

マイナンバーカードは、カードに搭載されている電子証明書を利用して、さまざまな行政サービスを受けることができ、市民の利便性を大きく向上させるものであり、積極的な取得促進を図るべきと考えます。

例えば、平成 29 年 6 月から開始される予定のコンビニ交付を利用するためには、マイナンバーカードを取得することが必要であるため、休日等を含めた早朝から夜遅くまで、最寄りのコンビニエンスストアで、住民票の写し等の証明書が取得できるという利点を市民へ十分に周知することで、カードの取得促進につながるものと考えます。

今後、市役所窓口等においても、カード利用による手続きの簡素化等、市民が利用しやすい環境づくりに配慮されるよう要望します。

次に、総合防災対策事業費についてです。

度重なる災害により市民の防災意識は高まっており、災害を未然に防ぎ、被害を最小限にするため、市民に対するさらなる防災意識の啓発と情報の提供を積極的に行うべきと考えます。

現在、本市の防災に関する重要事項を審議する場である防災会議は、年 2、3 回程度開催されております。来年度は大雪被害等も踏まえて早期に開催し、地域防災計画などの見直しを図られるよう望みます。

また、本市においてはさらなる防災関連事業の充実に努められるよう求めます。

以上で、本分科会の報告を終わります。

福祉保健分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第 1 号 平成 29 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、
議案第 5 号 平成 29 年度鳥取市国民健康保険費特別会計予算
議案第 6 号 平成 29 年度鳥取市高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算、
議案第 10 号 平成 29 年度鳥取市介護保険費特別会計予算、
議案第 14 号 平成 29 年度鳥取市介護老人保健施設事業費特別会計予算、
議案第 15 号 平成 29 年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計予算、
議案第 20 号 平成 29 年度鳥取市病院事業会計予算、

以上 7 案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について報告します。

まず、議案第 1 号平成 29 年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分について報告いたします。

生活困窮者自立支援事業、子どもの居場所づくり推進事業、ひとり親家庭学習支援事業、これら 3 つの事業は子どもの健全育成と自立を促すため、学習の支援や居場所、食事を提供することを目的としています。

子ども達が経済的な環境に左右されることなく、学習や社会性を育むための他者との交流の機会を得ることは非常に重要なことであり、これらの事業の利用者拡充を期待するところです。

しかしながらこの 3 つの事業は、対象者が重複しているところもあり、利用者がどの制度を利用することができるのかわかりにくい部分が見受けられます。

対象者がどの制度を利用したらいいかを十分サポートして、適切な制度で適切な支援が受けられるよう配慮を望みます。

次に議案第 20 号平成 29 年度鳥取市病院事業会計予算についてであります。

平成 29 年度当初予算は平成 28 年度に引き続いての赤字予算の編成ではありますが、新たな専門医の確保や経費削減対策などにより昨年度と比較して、赤字幅の縮小した予算の編成となっています。

昨年 11 月に設置された地域包括ケア病棟の運用は、病院経営の観点のみならず、本市

が進めている地域包括ケアシステムの一端を担う重要な取り組みであり、積極的な推進を要望します。

併せて、今後も、医師奨学生の募集・育成など医師不足解消へ向けた取り組みを進められるとともに、業務の効率化、地域包括ケア病棟の運用等により新鳥取市立病院改革プランで示された平成 30 年度における黒字化へ向けて、より一層の経営改善へ向けた取り組みを求めます。

以上で、本分科会の報告を終わります。

文教経済分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第1号 平成29年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、
議案第3号 平成29年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算、
議案第12号 平成29年度鳥取市温泉事業費特別会計予算、
議案第13号 平成29年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算、

以上4案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について3点報告します。

議案第1号平成29年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分についてであります。

第1点目は、放課後児童対策事業費についてであります。

放課後児童クラブは年々ニーズが高まり入級児童数が増加しています。各クラブが入級希望のアンケートを取り、入級希望者の把握をされていますが、入級したくても声を上げられない保護者もあり、潜在的ニーズは高いと思われます。

入級希望者を把握し、どのように拡充していくかは行政の仕事であり、ニーズの把握は今後の大きな課題であるとの意見が分科員からありました。

クラブの新設や分割など入級児童数を拡充する努力はされていますが、今後、潜在的ニーズの把握に一層努め、必要であれば計画の見直しを柔軟に行うよう要望します。

第2点目は、吉岡温泉活性化事業費についてであります。

吉岡温泉は、平成29年度に建設予定の新吉岡温泉会館や鳥取西道路の吉岡温泉インターチェンジの整備によるアクセスの向上により活性化が期待されます。

また、平成13年度に本市が取得した毎分100リットルの温泉権についても、新吉岡温泉会館で活用される予定です。

この新吉岡温泉会館を拠点とした吉岡温泉のさらなる活性化に向けて取り組まれるよう要望します。

建設水道分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第 1 号 平成 29 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、
議案第 2 号 平成 29 年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算、
議案第 4 号 平成 29 年度鳥取市駐車場事業費特別会計予算、
議案第 9 号 平成 29 年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算、
議案第 16 号 平成 29 年度鳥取市電気事業費特別会計予算、
議案第 17 号 平成 29 年度鳥取市水道事業会計予算、
議案第 18 号 平成 29 年度鳥取市工業用水道事業会計予算、
議案第 19 号 平成 29 年度鳥取市下水道等事業会計予算、

以上 8 案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について報告します。

まず、議案第 1 号平成 29 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分について報告いたします。

企画費のうち、鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金についてであります。

鳥取県では、鳥取空港のターミナル機能の強化と空港のにぎわい創出などを目的とした鳥取砂丘コナン空港交流創出事業に取り組んでおり、現在、国内線ターミナルと隣接する国際会館の一体化のための施設整備が進められています。

本市においても、従来から鳥取空港の利用促進とにぎわいづくりについて、県と連携した事業推進に取り組まれていることは伺っていますが、これまでの国際会館は、閑散としており、有効に利用されていないように見受けられます。

そこで、さらなる空港の活性化のため、国際会館のより効果的で、より良い利活用策を県に対して積極的に提言すべきとの指摘が分科員からありました。

今後、執行部におかれましては、鳥取空港の利用を促進する懇話会事業を通じ、引き続き、県との緊密な連携のもと、国際会館の効果的な活用や空港のにぎわい創出に努力していただくよう要望いたします。

次に、議案第 17 号平成 29 年度鳥取市水道事業会計予算について報告いたします。

簡易水道事業は、広域化による効率的な経営体制の確立を目的に、本年 4 月に水道事業に統合されます。

統合に当たっては、簡易水道事業の設備や管理の水準を水道事業の水準に合わせていくという課題があります。

この課題に対応可能な水道局の組織体制の整備が必要であるとの指摘が分科員からありました。

今後、執行部におかれましては、安全・安心な水道のサービス水準の維持、そして向上につながる事業運営が行えるよう、組織体制の強化に取り組んでいただくよう要望いたします。

最後に、議案第 19 号平成 29 年度鳥取市下水道等事業会計予算について報告いたします。

本市の公共下水道の整備が完了している地域のうち、下水道に接続している割合は 96%前後で推移しており、この全国平均より高い水準は、公共下水道普及に努められた成果だと考えております。

しかし、いまだ、下水道に接続していない世帯が約 1,800 件、存在しています。下水道へのすみやかな接続は下水道法で義務づけられており、川や池の水をきれいにするためにも重要です。

このため未接続世帯の解消に向けて具体的な計画を立てるなどして、取り組んでいく必要があるとの指摘が分科員からありました。

今後、執行部におかれましては、未接続世帯の解消に向けて、具体的な計画の立案や職員の体制の強化などを含む効果的な手段を検討し、取り組んでいただくよう要望いたします。

以上で、本分科会の報告を終わります。

新庁舎建設分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第 1 号 平成 29 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、

本案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について報告します。

市庁舎整備推進事業費の中に、建設工事の具体的な発注準備の予算が計上されています。

本分科会では、発注方法について執行部より、選定方法の特徴について説明を受けながら、価格の最も低い者を取引の相手方として評価する価格評価と入札価格と価格以外の品質などの要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価のいずれがよいか議論をおこないました。

その結果、多くの分科員から、価格評価のほうが優れているとの意見がありました。

理由としては、価格評価は、多くの大型工事が進む本市建設業界の仕事量の現状を考えると、工事品質を、適正な工事管理や参加条件で担保した上で、費用の抑制と競争原理が働きやすく、できるだけ早く落札者が決定でき、現在想定しているスケジュールを変更する必要がないこととあります。

これを踏まえて、選定されるよう要望するものであります。

以上で、本分科会の報告を終わります。